

[12 月例会]ミニ講演会 日時：2015 年 12 月 3 日（木）18：00～20：00

1.「中国における設備工事の実態と日本の最新型アルマイト廃水処理装置と課題その他」

講師：天野 武日古 氏（上下水道）

講師自身が経験された「中国へのアルミサッシ電解塗装処理増設設備の白色塗料の回収装置と精製装置等の納入に対してスーパーバイザーとしての業務」の概要と、一昨年実施された「日中科学技術交流・視察報告」について報告があった。

(1)設備の納入に関して まず、アルミの需要と生産国の紹介があり、中国が生産量、消費量とも年々増加しているとのことであった。次いで、特に日本における標準的アルミ建材表面処理工程と廃液・廃水処理の概要の説明があった。再資源化と公害防止の 2 方向での装置の必要性がこの国では求められている。当時発生した問題は、弁が作動しないことと、部品が未到着だとするトラブルであった。弁の問題は、事前に日本国内で品質確認を終えており、中国側の電気担当者への十分な説明を繰り返すことにより、据え付け時にミスの可能性を引き出し、一段落したとのこと。不足する分については、再度、出荷せざるを得なかったが、これも、後になって、その部品も見つかったとの報告があった。このようなトラブルは、責任問題を逃れたい当該国側の担当者によってもたらされるが、誠意をもって説得することで、解決に向けた姿勢への転換も可能であったことを示すものであった。

(2)最新の廃水処理装置の納入に関して 日本国内での廃水処理装置の概要について説明があり、まだまだシステムとして完成した状況にはなく、課題が発見されれば、改善方法を見つけていく状況にある。さらに、資源回収装置を設置しても、折角回収した資源の販路が確保できない。かといって、垂れ流しにはできないため、難解な課題が残っている。

(3)2015 年日中科学技術交流・視察 2015 年 11 月 1 日から 5 日までの中国訪問である。

- ・初日は、関空を出発し、上海空港にて中国入国、専用車に乗ってお酒で有名な紹興市へ。
- ・2 日目は、終日市内の視察。魯迅の実家や王羲之等について学び、紹興酒の工場の視察。
- ・3 日目は、杭州にて浙江大学との交流。学内の視察と副学長との交流後、上海へ。
- ・4 日目、上海市科学技術協会及び上海工程師学会との交流：過去 8 回の交流総括と今後の計画について協議。午後は、大阪府・上海市友好都市提携 35 周年記念行事に参加、上海国際会議中心で開催の日中双方の企業のプレゼンを視察。夕刻は、最近の中国事情と題する講演を聞いた。
- ・最終日、午前は、第 17 回中国（上海）国際工業博覧会を視察、大阪市大のブースに立ち寄る。午後は、ごみ焼却・発電プラントを見学して、日程終了。関空へ。